

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500127
事業所名	グループホーム エム・ケア名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。 地域ボランティアの参加があり、利用者との交流、親睦がある。地域の保育園との季節行事への参加、交流、地域の盆踊りへの参加など地域交流を図っている。毎月の事業所開放には地域住民の参加がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	いきいき支援センター、入居者全員、地域役員などの参加により、日頃の取組み、利用者の様子などの報告、意見交換、検討など行われている。 会議に合わせ、消防訓練、看取りの勉強会、試食会など様々な取組みについて、具体的にわかるよう、推進会議の運営に工夫がある。説明にはパワーポイントを使うなど判りやすくするなど配慮している。それらにより議論が具体的に効果もある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	いきいき支援センターとは、推進会議の他、事業所開放日など日常的に連携協力している。 認知症研修会へは、講師として協力している。 「家族サロン」の見学場所として施設を提供し協力している。 随時市担当者や連絡、相談、報告など日常的に交流している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	意見箱の設置がある。 面会時での相談、電話SNSなどでの随時連絡し情報共有を図っている。 家族の様子を見て、時間をかけながら、落ち着いて、相談できるよう配慮工夫している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	×	×	○	○	○	○	○	◎	○